



# 大会終了報告書

一般社団法人ランジャーニー

2024年10月25日

## 1. 開催概要

大会名	宮崎フェニックスマラソン2024
会場	ひなた宮崎県総合運動公園 クロスカントリーコース
開催日	2024年10月13日（日）
募集期間	2024年6月1日～9月30日
競技種目	ファミリーペア（2km）、10km、ハーフマラソン
受付	1部 8時30分～9時30分（ファミリー、10km） 2部 10時30分～11時30分（ハーフ）
開会式	1部 9時45分（ファミリーペア、10km） 2部 11時45分（ハーフ）
スタート	ファミリーペア 10時00分 10km 10時30分 ハーフマラソン 12時00分
主催	一般社団法人ランジャーニー
後援	宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎市、宮崎市教育委員会
協力	宮崎大学サッカー部、宮崎北高校陸上部

## 2. 参加費他

参加費	ファミリーペア	3,000円
	10km	3,500円
	ハーフマラソン	4,000円
参加賞	ファミリーペア	ポカリスエット 2本 お菓子の詰め合わせ 1袋
	10km、ハーフ	記念スポーツタオル
副賞	ファミリーペア	1位 午後の紅茶 1ダース 2位 焼きそば1ダース 3位 ポタージュ1ダース
	10km男子	1位 リュックサック 2位 セカンドポーチ 3位 サンバイザー
	10km女子	1位 キャップ 2位 セカンドポーチ 3位 靴下
	ハーフ男子	1位 リュックサック 2位 ポーチ 3位 キャップ
	ハーフ女子	1位 リュックサック 2位 キャップ 3位 靴下

### 3. 大会データ

種目	申込人数	スタート	完走率
ファミリーペア	77組	71組	100%
10km男子	71名	62名	98.3%
10km女子	29名	28名	96.4%
ハーフ男子	180名	149名	87.9%
ハーフ女子	27名	26名	80.7%
	461名	407名	92.2%

#### 参加（エントリー）者の年代

6～9歳	58名（ファミリーペアの子）
10～12歳	19名（ファミリーペアの子）
18～19歳	3名
20～29歳	28名
30～39歳	81名
40～49歳	125名
50～59歳	95名
60～69歳	44名
70～78歳	8名
	461名

#### 都道府県別

埼玉県	2名	東京都	7名	愛知県	1名
山口県	1名	愛媛県	1名	福岡県	43名
佐賀県	2名	長崎県	2名	熊本県	44名
大分県	15名	鹿児島県	55名	宮崎県	212名

#### 宮崎県内のセグメント

宮崎市	152名	国富町	2名	西都市	4名
延岡市	10名	日向市	8名	高鍋町	1名
都城市	14名	日南市	4名	串間市	2名
都農町	3名	川南町	2名	新富町	1名
三股町	4名	えびの市	3名		

※ファミリーペアは1名でカウント

### 4. 優勝記録

ファミリーペア	上田 多為来/上田 将馬（宮崎県）	8分21秒
10km男子	阿部 匠真（福岡県）	35分13秒
10km女子	黒木 智美（宮崎県）	35分13秒
ハーフ男子	金山 裕生（福岡県）	1時間18分40秒
ハーフ女子	持原 安珠（福岡県）	1時間29分05秒

#### 4. 大会予算

##### 収入

参加料収入	1,412,500円	
スポーツくじ補助金	1,372,000円	(予定)
合計	2,784,500円	

##### 支出

記録計測費	702,570円
印刷製本費	400,000円
HP作成費	350,000円
参加賞	341,780円
スタッフ謝金	300,000円
交通費 宿泊費	164,677円
事前調査費	125,260円
消耗品費	71,005円
会場設営費	66,000円
チケット販売等	42,570円
郵送費	39,255円
エイド提供品	36,947円
スタッフ弁当代	34,830円
MC派遣費用	33,000円
施設利用料	31,870円
保険料	30,700円
医薬品	5,980円
雑費	10,257円
	2,786,701円

## 5. 成果と課題

### 【成果】

- ・地震や大雨による、コース損傷もありながら転倒者0名で無事大会が終了した。※開会式時の説明や危険個所にスタッフを増員
- ・宮崎大学サッカー部と県立宮崎北高校陸上競技部がスタッフとして参画し、運営が良く参加者から喜ばれた。
- ・ハーフマラソンのスタート時間の気温が26℃であったが、竹林に囲まれたコースで直射日光を妨げされたことと、氷水を頭に当てることにより、熱中症での棄権者が0名であった。
- ・県外からの参加者が半分以上であり、クロスカントリーコースの告知には繋がった。
- ・ファミリーペアに参加された児童が高学年より低学年が多かったのは、主催者の意図に伴うもので納得いく結果となった。

### 【反省】

- ・周回コース3kmに1度給水場を提供したが、参加者にとってはまだ不足のようで、さらに1か所追加してほしいと要望を受ける。
- ・MCの誤った説明(誤解の可能性)があり、7周回しなければいけない参加者が6周で終え、完走が出来なかった。  
一時的にエキサイトされたが、最終的には納得され帰宅された。

### 【総括】

- ・九州エリアで10月にハーフマラソン大会が少なく、九州一円から参加者が集まった可能性がある。
- ・路面が未舗装で反発力が弱いことと、アップダウンがきつかったこと、26度の気温などで制限時間を延長したにも関わらず棄権者が多かった。
- ・足を攣る参加者は一定数いたものの、看護師が手当するような事案は0名であったことは主催者として安心している。
- ・その反面、12時スタートのハーフ部門は何か検討する必要性もあると考えられる。
- ・TOTO(スポーツくじ)の予算を取り、スタッフ増員、制作物が潤沢になった、参加賞もバージョンアップ、参加費を他大会より安めにより、評価が良くなった。※備考 綾マラソン(ハーフ5,500円、ファミリーペア5,500円)日南マラソン(ハーフ5,000円)

## 6. 大会写真



宮崎北高校の学生



ファミリーペアスタート前集合写真



10kmスタート前集合写真



ファミリーペアスタート直前写真



宮崎大学サッカー部による受付



10km男子の部表彰式



大会MCも現役大学生



見た目以上に厳しい上り坂